

NEWS RELEASE (2022年2月15日)

東町漁業協同組合と鹿児島大学水産学部との連携に関する協定書の締結について -漁家・養殖経営の改善に向けた実践的取り組み強化-

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。次の東町漁業協同組合と鹿児島大学水産学部との連携に関する協定書の締結について取材方お願いいたします。

【趣旨等】

鹿児島大学水産学部と東町漁業協同組合は、水産業分野の連携を通じて、養殖生産、漁船漁業、種苗確保、漁場環境、付加価値向上等に係る実践的取組により地域活性化に寄与する事業を円滑に推進し、水産学部附属海洋資源環境教育研究センター東町ステーションの施設および機能面を有効利用して、東町漁業協同組合のニーズに応じた人材育成の場や機会、それらに必要な知的資源の提供を行い、併せて水産学部が全面的にバックアップして、教育・研究フィールドを共有・協働する事により、魅力ある水産業の発展を目指し、社会の発展に寄与するための協定を締結した。



【内容】

1. 締結に至った背景

1968年に東町漁業協同組合でブリ養殖業が開始され、1970年に鹿児島大学水産学部が水産実験所(現東町ステーション)を設立して以来、養殖天気図(夏季の溶存酸素濃度や硫化物量の漁場における水平・鉛直分布図)作成や、東町(現長島町)立種苗センターの設置場所検討、環境保全型複合エコ養殖の研究や、東町の事業である水産マイスター塾への講師派遣等、様々な面で両者は連携を行ってきた。今回、町立種苗センターの指定管理者として東町漁協が選定され、東町ステーションに赤潮や魚病ウイルスの迅速診断を行えるリアルタイム PCR システムが導入されたのを機会に、漁家・養殖経営の改善に向けた実践的取り組みをさらに強化するために連携協定の締結に至ったものである。

2. 締結内容

鹿児島大学水産学部及び東町漁協協同組合は、次の事項等について連携する。

- (1) 水産学部東町ステーションの施設及び設備等の有効利用に関すること。
- (2) 人材育成と知的資源に関すること。
- (3) 養殖経営体を含む漁家の経営改善に資する実践的取組に関すること。

【問い合わせ先】

鹿児島大学水産学部: 水産学部長 佐久間 美明

TEL: 099-286-4111

E-mail: dean-ys@fish.kagoshima-u.ac.jp

※対面での取材を希望の場合は、新型コロナウイルス感染症感染予防対策の実施をお願いいたします。